PART2 大衆社会の成立

Chapter1　欧米の大衆化

目標
第一次世界大戦を経験した欧米が，なぜ大衆の意向を無視できなくなったか考えよう。
大衆化と，アメリカで起こった反動・負の側面もおさえよう。

1　大衆社会とは？

①〔　　　　〕の登場

19 世紀末～1910年代にかけ，資本主義の発達により**大量**〔　　　　〕・**大量**〔　　　　〕が始まり，人々のライフスタイルに差がなくなってきた。

※さらに，第一次世界大戦で，国民の協力を必要不可欠とする**総力戦**を経験したことで，戦後に平均化された「大衆」の意向を無視することができなくなった。

②**民主主義〔デモクラシー〕**の基礎が確立

大戦の反省や**選挙権の拡大**もあり**大衆の政治参加**が促され，大衆の動向や意思が社会に大きく作用するようになった。

※支配者は大衆の支持を得ようとし，大衆もまた支配者に各種の要求をすることになった。

※大戦中の 1917年に始まった**ロシア革命が成功**したことも，大きな刺激となった。

③〔　　　　　　　　　　　　〕の発達

A　教育の普及により送り手のみならず受け手の大衆が成長

B　**新聞・雑誌**の発展

C　〔　　　　　　〕放送の開始

④近代的家族像

A　都市部では核家族を重視する価値観も

B　生まれながらの格差ではなく学歴重視の傾向も

家電製品と欧米の核家族

2　欧米の大衆社会―アメリカ

①**女子参政権**の実現→**女性の社会進出**

②移民・黒人の就業機会の増加

③大量生産された**自動車**や**家電製品**を大量消費→各種のコマーシャル

④大衆〔　　　　　〕も大量消費を促進

A　**ハリウッド映画**・ディズニー映画

B　**ジャズ**

C　〔　　　　　〕などのプロスポーツ

D　団体旅行

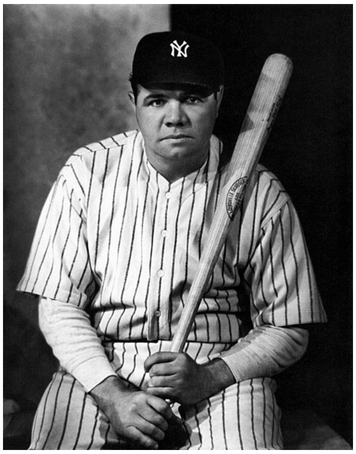
⑤大衆化の反動で伝統文化を重視→**保守化・排外主義化**

A　白人中産階級の規範に従順で規則正しい暮らしを人々に強制

B　白人による有色人種の差別（黒人・アジア系移民など）

⑥反社会主義・反共産主義的風潮

ソ連の脅威



ベーブ = ルース

まとめ

国民の協力を必要不可欠とする総力戦を経験したことで，戦後，大衆の行動・意向を無視できなくなった。

アメリカでは大衆化の反動で，保守化・排外主義化の傾向が強まった。

Chapter2　日本の大衆文化

目標　女性の社会進出が進んだ一方で，女性たちに足りなかったものを考えよう。
日本国内の大衆文化の進展に差を生んだ要素を考えてみよう。

1　日本における文化の大衆化

①背景

A　義務教育の徹底と**人々の政治意識の高まり**

B　大学令による男子高等教育の拡充と女子中等教育の進展

②思想界の多様化→“〔　　　　　〕**デモクラシー**”

A〔　　　　　　　　　〕の**民本主義**と**美濃部達吉**の〔　　　　　　　〕**機関説**

B　石橋湛山の小日本主義

C　森戸辰男・河上肇らの社会主義思想

D　北一輝・大川周明らの超国家主義思想

③文学界の多様化

A　反自然主義の諸派→耽美派・白樺派・新思潮派・新感覚派など

B　**プロレタリア文学**

C　**大衆文学**や児童文学

④**ジャーナリズム**の発展と他の発行物

A　**新聞**

有力全国紙が発行部数100万部超え

B　**雑誌**

あ　**総合雑誌→**『中央公論』・『改造』など

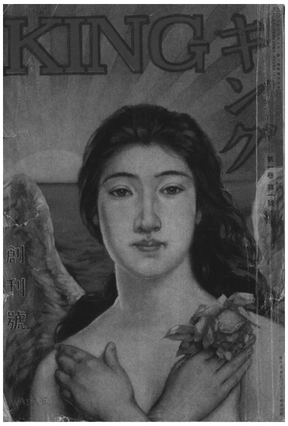
い　週刊誌の登場

う　**大衆（娯楽）雑誌→**『〔　　　　　　〕』

C〔　　　　　　〕（1925年に放送開始）

翌26年に**日本放送協会〔NHK〕**設立

D　円本（全集もの）や文庫本・漫画など



『キング』の宣伝ポスター

2 大衆文化の諸相

〔　　　　　　　　　　　　　　〕終結などによる**世界的な民主主義的風潮**の中で，都市部を中心に欧米文化が国民的普及を果たし，〔　　　　　〕**文化**となる。

①**女性の社会進出**→〔　　　　　〕**婦人**

②俸給生活者〔サラリーマン〕→**新中間層**

③洋服の着用が一般化→東京には**モボ・モガ**

④洋食が流行し家庭では茶の間のちゃぶ台を囲んでの団らんが見られた

⑤**郊外電車**の沿線に和洋折衷の**文化住宅**が建つ

⑥東京に地下鉄が開通し円タクや乗合自動車〔バス〕も発展

⑦オフィスビルや**デパート〔百貨店〕**

⑧大衆演劇・軽演劇の人気と〔　　　　　〕（無声→有声へ）の発展

⑨野球などの学生スポーツや歌謡曲の人気→ラジオ放送や**蓄音機**の普及

⑩オリンピックへの参加

モボ・モガ

まとめ

女性の社会進出は進んだが，高等教育と選挙権が存在しなかった。
大衆文化は都市部が中心で，農村部は伝統的な価値観で動いていた。

第10講　PART2　確認問題

1 第一次世界大戦後，その基礎が確立されたのはどれか。

① 全体主義　② 社会主義
③ 共産主義　④ 民主主義

2 第一次世界大戦後，大衆化の反動としてアメリカで見られたのはどれか。

① 排外主義化　② 革新化
③ 反社会主義化　④ 反共産主義化

3 吉野作造が提唱したのはどれか。

① 三民主義　② 民族自決主義
③ 平民主義　④ 民本主義

4 天皇機関説を説いたのはだれか。

① 美濃部達吉　② 北一輝
③ 吉野作造　④ 新渡戸稲造

5 『貧乏物語』を著したのち，社会主義思想を説いたのはだれか。

① 大川周明　② 北一輝
③ 河上肇　④ 石橋湛山

6 大衆（娯楽）雑誌の流行のもととなった雑誌はどれか。

① 『改造』　② 『キング』
③ 『中央公論』　④ 『太陽』

7 1冊1円で販売された，安価な全集ものは何といわれたか。

① 文庫本　② 単行本
③ 円本　④ 週刊誌

8 新中間層と呼ばれたのはどのような人々か。

① サラリーマン　② 自営農民
③ 職人　④ 自営業者

9 郊外に建てられた和洋折衷の住宅を何というか。

① モダン住宅　② 近代住宅
③ 洋風住宅　④ 文化住宅

10 大正時代に普及したものとして**あてはまらないもの**はどれか。

① 蓄音機　② 有声映画
③ テレビ放送　④ ラジオ放送

第10講　PART2　確認問題　解答

1 解答：④　大戦の反省や選挙権の拡大もあり，大衆の政治参加が促された。

①：強権的な指導者が生活を統制し国民統合を図ろうとする考え。イタリアのファシスト党やドイツのナチス，日本の軍国主義などがあてはまる。
②：資本主義を否定し，労働者階級の解放を目指す考え。
③：社会主義がより発展し，あらゆる面で平等な共同社会を目指す考え。

2 解答：①　大衆化の反動で伝統文化を重視するようになった。

②：保守化の対義語である。
③：社会主義を否定する考えで，ソ連の脅威を背景として生まれた。
④：共産主義を否定する考えで，ソ連の脅威を背景として生まれた。

3 解答：④　吉野作造は，主権在君の大日本帝国憲法下における民衆の政治参加を主張した。

①：中国革命において孫文が掲げた三原則（民族・民権・民生）。
②：それぞれの民族は自らの運命を自ら決するべきとする考え。
③：自由民権運動の中で生まれた考え方で，上からの近代化ではなく平民が西洋文明を受容して近代化を進めるべきという考え。

4 解答：①　天皇機関説は，主権は国家にあり，天皇は国家の最高機関であるとする学説。

②：超国家主義思想を説いた。
③：民本主義を説いた。
④：国際連盟の事務次長に就任した。

5 解答：③　河上肇はマルクス主義経済学を学び，その最高権威となった。

①：超国家主義思想を説いた。
②：超国家主義思想を説いた。
④：小日本主義を説いた。

6 解答：②　大衆（娯楽）雑誌は, 大衆の要求に応え, その読書欲を満たそうとした雑誌。

①：総合雑誌の一つ。
③：総合雑誌の一つ。
④：総合雑誌の一つ。

7 解答：③　円本は出版の大衆化をもたらした。

①：内外の古典を手軽な形で紹介した本。
②：単独で刊行される本。
④：1 週間に 1 回発行される雑誌。

8 解答：①　新中間層とは，サラリーマンや公務員などの俸給生活者のこと。

②：資本家階級と労働者階級の中間に位置し，旧中間層と呼ばれた。
③：資本家階級と労働者階級の中間に位置し，旧中間層と呼ばれた。
④：資本家階級と労働者階級の中間に位置し，旧中間層と呼ばれた。

9 解答：④

文化住宅は大正から昭和にかけて流行した和洋折衷の住宅のこと。

①：現代風の造りの住宅のこと。
②：近代的な造りの住宅のこと。
③：洋風の造りの住宅のこと。

10 解答：③

日本でテレビ放送の本放送が開始されたのは，第二次世界大戦後の 1953 年。

①：蓄音機の普及に伴いレコードの国産も始まった。
②：映画は無声から有声へと発展した。
④：1925 年に本放送が開始された。